

教育委員会だより

「自主」と「共生」～自己肯定感

平成 30 年 11 月 30 日号 多治見市教育委員会 教育総務課

平成 30 年度 第 68 回多治見市中学校音楽祭



11月9日(金)、パロー文化ホールにて、第68回多治見市中学校音楽祭が開催されました。市内全8中学校の2年生が一堂に会し、合唱を交流しました。

小泉中学校は代表クラス。入場、男女の美しいハーモニー、退場まで、

全員の気持ちがそろった素晴らしい発表でした。北陵中学校も代表クラス。「まだ見ぬあなたの笑顔のために」歌詞が聴衆の心に温かく届く発表でした。平和中学校は学年合唱。渾身の合唱と表情。曲の合間にも誰一人姿勢が崩れない、素晴らしいチームワークでした。多治見中学校は全員合唱。美しいハーモニーと聞き手の心に迫る力。全員の心が一つになっていることが伝わりました。南姫中学校も学年合唱。姿勢が揺らがないステージ上の落ち着きに、歌う表情の明るさと優しさに、日頃の営みが表れていました。笠原中学校も学年合唱。工夫のある入場、美しいハーモニー。合唱と仲間作りに対する真摯な姿勢が伝わりました。南ヶ丘中学校も学年合唱。顔中が口に見えるほどの表情で歌う人、美しいハーモニー。「僕らの出会いを別れと呼んだ」気持ちが伝わる発表でした。陶都中学校は学年合唱と代表クラスの二部制。整然とした入場に、歌わないときに座って待つ姿勢の美しさに、心の強さが表れていました。調和のとれた美しいハーモニーでした。

ご指導の北野良徳先生からは、総合的なお褒めの言葉とともに「どうか歌うことを好きであり続けてほしい」と温かいメッセージをいただきました。

A君の職場体験

11月は、多くの中学校2年生が職場体験で、市内の事業者の方にお世話になります。A君もそんな一人として、多治見市図書館で二日間の職場体験を行いました。実施にあたっては、学校の先生、図書館の職員の方、A君と保護者の方、教育委員会職員が図書館に伺い、打合せを行いました。こういう形での職場体験を行ったのは、今春の「校区少年の主張大会」での、A君の発表がきっかけでした。下記に一部を抜粋します。

(前略)僕は、道具を使って作業することが不得意です。例えば、ものさしで線を一本引くにも苦労します。ものさしを適当な場所に置く、ずれないように押さえる、鉛筆で決められた長さの線を引く。一度にやることが増え、動作が複雑になればなるほど、自分でうまく操作できません。普通よりも時間もかかります。

それは、発達障がいという特性によるものだと母は言います。この特性のために、他にも人とコミュニケーションをとること、姿勢を保つこと、見通しを持つことなど、普通にできないことがたくさんあります。だから、プリントののり付け、ものさしで線を引くことのように、生活の中で当たり前の作業を、僕は苦労しながら何度も経験することで、できるようになってきました。(中略)

「困ったことがあったときは、教えてね。」と、母は僕に言いました。

僕は、そのとき気づきました。僕は、一人ではできないことがたくさんあります。苦労することがたくさんあります。でも、それをいつも家族や先生や友達が気付いてくれました。僕がものさしを上手に使えなかったとき、心配した母は、ずれないで引けるようにすべりにくいものさしを探してきてくれました。そして、何度も経験してできるようになるのを待っていてくれました。できないことが分かって周りの人がそっと手助けしてくれました。僕は、自分のことを人に伝えることも苦手ですが、そうやって自分が困ったときはそれを伝えることを覚えてきました。その中で、自分でできることを増やしながらか、僕は楽しく生活してこられたのです。(後略)

教育委員会は、インクルーシブ教育の考え方を基盤として教育施策を推進しています。その中で、今後の大きな課題として、困り感のある子について「社会自立としての就労まで見据えた早期の支援の在り方」を検討しています。A君とご家族が、主張大会で発表できるほどにA君の特性を受け止め、A君自身が「楽しく生活してこられた」と言えるようになるまでには、きっと多くのことがあったに違いなく、決して簡単なことではありません。しかし、多治見図書館の山口館長様他多くの方の協力を得て実現したA君の職場体験が、小さな「就労成功体験」として、同様の悩みや困り感のある子や保護者の方の今後に生きるよう、施策を推進します。

第 62 回 岐阜県児童生徒科学作品展中央展

同展で本市の児童生徒 15 名の作品が入選し、上記

小学校の部	最優秀賞	根本小学校	2年生	東うらいくめ	さん
	優秀賞	根本小学校	3年生	若尾 桃花	さん
中学校の部	最優秀賞	南ヶ丘中学校	3年生	武井 鈴	さん
	優秀賞	平和中学校	1年生	藤 遙果	さん

の4名が岐阜県博物館で表彰されました。最優秀賞の2名は「第55回才能開発コンテスト科学部門」(小)「第62回日本学生科学賞」(中)に推薦されました。

< 12月の行事から >

- 4日(火)子どもの習慣向上推進委員会
- 20日(木)研究主任会講演会
- 21日(金)教育委員会会議
- 27日(水) 冬休み(1月7日(月)まで。冬休み後最初の登校日は1月8日(火))

< 1月の行事から >

- 4日(金)学校閉庁日
- 7日(月)連合生徒会
- 8日(火)冬季休業後最初の登校日
- 10日(木)教育実践論文審査会
- 26日(土)わがまち多治見大好き講座⑧「子ども議会」(24名)